

令和5年度上笹下地域ケアプラザ地域ケアプラザPDCAシート公表用（事業計画書、事業報告

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

上笹下地域ケアプラザが担当する地区は、磯子区の南部に位置し、担当する地区の面積は、区内では最大です。地区の南北を縦断するように「笹下釜利道路」があり、公共交通機関が充足しているように思われるものの、昭和40年代に開発された大規模集合住宅や不動産会社が開発した住宅などが混在し、坂道や狭い道が多く高齢者にとって「住みやすい地域」とは言い難い環境です。地区の世帯構成は、高齢者の一人暮らし、夫婦のみの世帯が多く、高齢化率は31%（全国平均29.1% 磯子地区27.8%）、特にケアプラザのある水取沢町は43%と区内で一番の高齢化が進行しています。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う自粛生活や8050問題など、社会からの孤立化や支援にすぐにつながらない事例などが顕在化してきています。広報誌、HP及びリーフレット等を作成し、ケアプラザの周知活動を行ってきましたが、地域の介護申請や相談事業の際に「こんな近くに相談できる場所があったなんて知らなかった。」といった声があります。今後も、地域の仲間づくり、健康づくり、介護予防の取り組みを通してケアプラザの存在と役割を周知していくと共に、住み慣れた地域生活が送れるよう、地域の団体やサークル、介護サービス事業所、行政機関との連携を強化していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	令和4年度に作成した「子育て相談窓口ガイド」、「障害者相談窓口ガイド」について、年度内に配布できなかった関係機関へ配布。子育て関連施設5件、障害者関連施設3件。情報交換を行い、新たなつながりが広がっていく
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10月・11月にポッチャの体験会を開催し、広く知っていただく機会をつくるとともに、介護予防や社会参加、自主化につながるよう働きかける
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	適切な支援のためのケアマネジメント、資源開発・政策形成のための地域ケア会議の開催を2回以上開催していく
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度はアウトリーチを意識し、夏祭りを始めとした地域の会合や行事に積極的に出向き、相談業務をはじめケアプラザの周知活動に取り組んで来ました。そのかわりの中で、①地域にある「生活介護事業所」にご協力をいただき、ケアプラザの事業を通して活動の場を広げてもらい、地域の方との交流を深めることができました。②ポッチャ体験会を通じて、障害の有無に関わらず楽しめるスポーツを知っていただき、新たな仲間作りや、自主活動につなげる事ができました。③個別地域ケア会議では専門職による多職種連携と地域住民の支援、包括レベル地域ケア会議では特殊詐欺・悪徳商法から地域の高齢者を守るネットワーク作りや対策について話し合うことが出来ました。近隣の小学校では認知症サポーター養成講座の実施、総合の時間の支援を行う等、関係を深める事が出来ました。来年度も可能な限り地域に出て活動をしていくとともに、仲間づくりや介護予防の取り組みを通して、自分らしく生活できる地域づくりを目指していきます。

区からのコメント

地区の特性上、ケアプラザに来ることが難しい地域の方もいるため、地域の会合や行事に出向き、普及活動をして頂いたことは広く周知するために大変大きな効果があったと考えます。特に、地域の生活介護事業所や近隣の小学校との交流・連携ができたことは大きな一歩だと思っておりますので、今後もこのつながりが継続し、深まると良いと思っております。また、高齢化が進む地区で新たな人材と自主活動グループを育成されたことは大変だったと思っておりますが、そこから更に仲間づくりや介護予防の取り組みが波及していくことを期待しています。地域ケア会議についても、エリアにある金融機関に参加を依頼し、警察と地域住民で話し合いをおこなうことができたことはとても意義のある会議になったのではないかと思います。